

## Digital Badges

# Open Badges 2.0 (OBv2)

[メンバーリソース](#)

[パブリック  
ドキュメント](#)

[バックグラウンド](#)

## 概要

オープンバッジは、本人（取得者）が獲得した検証可能な成果の情報豊富な視覚的な記録です。オープンバッジ標準は、成果に関する情報をパッケージ化し、デジタルバッジとしてポータブルイメージファイルに埋め込み、その検証と検証のためのリソースを確立する方法を説明しています。言い換えれば、オープンバッジには、誰がそれを獲得したか、誰がそれを発行したか、必要な基準、多くの場合、関連するスキルの証拠とデモンストレーションなどの成果に関する詳細なメタデータが含まれます。データはすべて内部にあります！

**オープンバッジ 2.0**は、承認、国際化、多言語機能、バージョン管理、アクセシビリティの改善、JSON-LDの完全採用などの強力な新機能を提供します。オープンバッジ 2.0は最終ステータスです。

**オープンバッジ 2.1** は、RESTベースのAPIをオープンバッジ 2.0に追加しています。多くの場合Badge Connect™ APIと呼ばれるオープンバッジ 2.1は、既存のオープンバッジ 2.0データモデルを完全に継承しています。オープンバッジ 2.1は、候補版の最終ステータスに移行しており、メンバーの採用にすぐに利用できるようになります。

IMS グローバルは、デジタルクレデンシャルエコシステムの重要なコンポーネントであるオープンバッジ仕様の管理と推進を担当しています。オープンバッジ 2.xは、デジタル資格情報に関連する他のIMS標準である：[包括的学習者レコード](#) と [コンピテンシーとアカデミック標準交換 \(CASE\)](#)®、との互換性および相互運用性を目的として設計されています。

## パブリックドキュメントとリソース

- [オープンバッジ仕様コードリポジトリ](#)
- [オープンバッジバリデータ](#)
- [オープンバッジ認証製品](#)

## 仕様書

- [オープンバッジ2.0](#)
  - [オープンバッジ 2.0最終仕様](#)
  - [オープンバッジ 2.0実装ガイド](#)
  - [オープンバッジ 2.0認証ガイド](#)
  - [オープンバッジ 2.0ベーキングガイド](#)

## メンバーリソース (ログインが必要)

- [オープンバッジ 2.0認証スイート](#)
- [オープンバッジプロジェクトグループ](#)
- [オープンバッジ 2.1 \(バッジコネクト API\) 最終候補版](#)
  - [仕様](#)
  - [適合性および認証ガイド \(作成中\)](#)
  - [正誤表](#)
  - [JSONスキーマ](#)

- <https://purl.imsglobal.org/spec/ob/v2p1/schema/json/obv2p1-getassertions-200-responsepayload-schemav1p0.json>
  - <https://purl.imsglobal.org/spec/ob/v2p1/schema/json/obv2p1-getassertions-400-401-404-405-responsepayload-schemav1p0.json>
  - <https://purl.imsglobal.org/spec/ob/v2p1/schema/json/obv2p1-getmanifest-200-responsepayload-schemav1p0.json>
  - <https://purl.imsglobal.org/spec/ob/v2p1/schema/json/obv2p1-getprofile-200-responsepayload-schemav1p0.json>
  - <https://purl.imsglobal.org/spec/ob/v2p1/schema/json/obv2p1-getprofile-400-401-404-405-responsepayload-schemav1p0.json>
  - <https://purl.imsglobal.org/spec/ob/v2p1/schema/json/obv2p1-postassertion-200-400-401-404-405-responsepayload-schemav1p0.json>
  - <https://purl.imsglobal.org/spec/ob/v2p1/schema/json/obv2p1-postprofile-200-responsepayload-schemav1p0.json>
  - <https://purl.imsglobal.org/spec/ob/v2p1/schema/json/obv2p1-postprofile-400-401-404-405-responsepayload-schemav1p0.json>
- JSON-LDコンテキスト (近日公開予定)
  - オープンAPIファイル
    - [Swaggerビューアー](#)
    - Raw: [JSON](#) | [YAML](#)

## バックグラウンド

オープンバッジなどの検証可能なデジタル資格情報は、教育機関、雇用主、およびその他の学習組織が学習者のスキル、能力、および成果を認識するためのますます重要な手段です。

学習者の代理の原則に基づいて設計されたオープンバッジは、任意のプラットフォームでバッジを要求および表示できるようにすることで、学習者が資格情報を制御できるようにします。また、オープンバッジは、特定のシステム（バッジ作成プラットフォーム、学習管理システム、ソーシャルメディアサイトなど）に結び付けられるのではなく、移植可能です。オープンバッジには、発行組織、取得者、およびバッジの獲得を実証する証拠に関する情報を提供する豊富なメタデータが含まれています。

標準のオプションの拡張機能により、オープンバッジは、評価に関する詳細情報と、資格情報に関連する発行者の認定に関する追加情報を含めることができます。これらの要素は、資格を審査する関係者と同様に雇用主やピアネットワークに対してバッジの厳格さを検証するのに役立ちます。資格には、教育機関内の他の仲間の学生、インストラクター、アカデミックアドバイザー、キャリアセンタースタッフなど、が含まれている可能性があります。これらの方法で、バッジ所有者はオープンバッジを所有し、表示し、保存し、オープンなデジタル認証エコシステム全体で共有できます。

## 参加するには

2017年1月、IMS グローバルは、オープンバッジ仕様の進化を主導し、将来のオープンバッジエコシステムの持続可能性を確保する責任を引き受けました。IMSは、教育機関、非伝統的な学習機会、雇用センター内および教育施設内での学習者のデジタル資格情報の採用、統合、および転送の可能性の促進に取り組んでいます。

**Contact us** オープンバッジプロジェクトグループに参加する方法、またはIMS グローバルデジタルクレデンシャルイニシアチブの詳細については、お問い合わせください。

News

**19 Dec 2019**

[IMS Global Learning Consortium Announces Digital Credentials Summit Featuring Growth of Higher Education Workforce Collaboration](#)

**07 Nov 2019**

[Addressing the Skills Gap With Micro-Credentialing](#)

**23 Oct 2019**

[Report of the ICDE Working Group on The Present and Future of Alternative Digital Credentials](#)

Specifications

[ [view all...](#) ]

**07 Jun 2018**

[IMS Open Badges v2.0 Final](#)

**07 Jun 2018**

[IMS Open Badges v2.0 Baking Final](#)

**07 Mar 2017**

[IMS Badge Extensions for Education](#)

Product Roadmap

[ [view all...](#) ]

**17 Oct 2019**

[IMS Major Initiatives Roadmap](#)

Updated August 2019 DIGITAL CREDENTIALS & PATHWAYS

Tutorials and Guides

[ [view all...](#) ]

**07 Jun 2018**

[IMS Open Badges v2.0 Certification Guide](#)

**07 Jun 2018**

[IMS Open Badges v2.0 Implementation Guide](#)

**09 Jan 2018**

[IMS Glossary of Terms](#)

[IMS Global Glossary of Terms](#)

---

This page contains trademarks of the IMS Global Learning Consortium including the IMS Logos, Learning Tools Interoperability® (LTI®), Accessible Portable Item Protocol® (APIP®), Question and Test Interoperability® (QTI®), Common Cartridge® (CC®), AccessForAll™, OneRoster®, Caliper Analytics®, SensorAPI™ and Competencies and Academic Standards Exchange® (CASE®). For more information on the IMS trademark usage policy see [trademark policy page](#)

